

きょうと 京図

ものがたり



夢ふくらむ図書館に



目次

インタビュー おおいしすすむ氏 2
読み聞かせで広がる子どもの世界

図書館小特集 3

特集 4~5
知っていますか？ こんな図書館・図書室

京都市図書館紹介 6~7
久世ふれあいセンター図書館, 西京図書館

図書館コラム 6
山里の図書室

お知らせ 7
「地域教育フォーラム・イン京都」開催
北・西京図書館で夜間開館スタート
「読み聞かせ講座」が始まりました
右京中央図書館建設室が発足

利用者の声 8

編集後記 8
行かなきゃ損！

読み聞かせで広がる子どもの世界

日本国際児童図書評議会会員 おおいしすすむ氏

■読み聞かせ活動

私と本の出会いは、小学校のときです。担任の先生が読んでくださった『真実一途』という本、とても難しい本でしたが、子ども心に大変感銘を受けたんです。

そんな影響もあって、私は小学校の教員になってから退職するまで、毎日、本の読み聞かせをしました。読み聞かせをすると、ただもうそれだけで、子どもたちは、生き生きと目を輝かせるんですね。

時間がくるといつも、子どもたちは続きのページを開けて、私が話し出すのを待っていました。そういう私自身、そうした子どもたちの反応が、楽しくてたまりませんでした。

一日たった数分のことなのに、毎日読んでいると、『モモ』や『冒険者たち』等の大作も半年で読み終えてしまうんです。不思議なことに、子どもたちは、なぜか自分で読んだ気になります。そしてこれをきっかけに、自分で本を読むようになった子もいます。

私は高学年を担当したときも、読み聞かせをしました。それは、読み聞かせは子どもが字を読めないからするのではないと思っています。目で読む読書と耳で聞く読書は違います。耳で聞くことによって、目で読んだときには気づかなかったことを発見することもあります。

1980年代、社会によって子どもは変えられてしま

■子どもの変化について

1980年代、社会によって子どもは変えられてしま

ったのではないかと思います。ゲームやテレビ等の影響からか、子どもは本を読まなくなりました。また生活体験が不足するようになったのもこの時期です。このような部分を補うため、学校では生活科や総合学習の時間がもうけられました。同じ流れの中に「子ども読書活動推進運動」があると思います。

でもね、もしあの時期に今のようないろんな取り組みが行われていれば、現状はもっとよくなっていたのではないかと思います。

■「ブックリスト」

京都市図書館は協力団体とともに、子どもが本を読む手がかりとなるブックリスト「本のもり」を作られました。これは、子どもが本を読むきっかけとなるだけでなく、大人が子どもの本に関心を持つ良いきっかけにもなると思います。

そして最終的にはリストがなくても、自ら本が選べるようになればと期待しています。

■一人でも多くの大人が読み聞かせをする世の中になりたい

読み聞かせをしてあげると、赤ちゃんは分からないようにも、ちゃんと聞いていますね。

読み聞かせは「心の母乳」「心の栄養」と考えています。

お父さんとお母さん、先生など、子どもたちに読み聞かせをしてくださる大人が、一人でも多くなることを願

っています。

読み聞かせを難しいと考える方もおられますが、読み聞かせに技術はいりませんし、感情移入しすぎるのもしありません。

ただ書いてあることを声に出して読むだけです。

大切なことは「子供に伝えたい！」という気持ちです。この気持ちがあれば、思いは自然と子どもたちに伝わります。

もともと私が読み聞かせを始めたのも、本好きを育てようと思ったわけではありません。自分にぴったり合う本を読めば、心が動くことがあります。子どもたちにそれを実感して欲しかったからです。

私はこれからも毎日、かばんに本を入れて、子どもに出会った本を読み続けていこうと思っています。



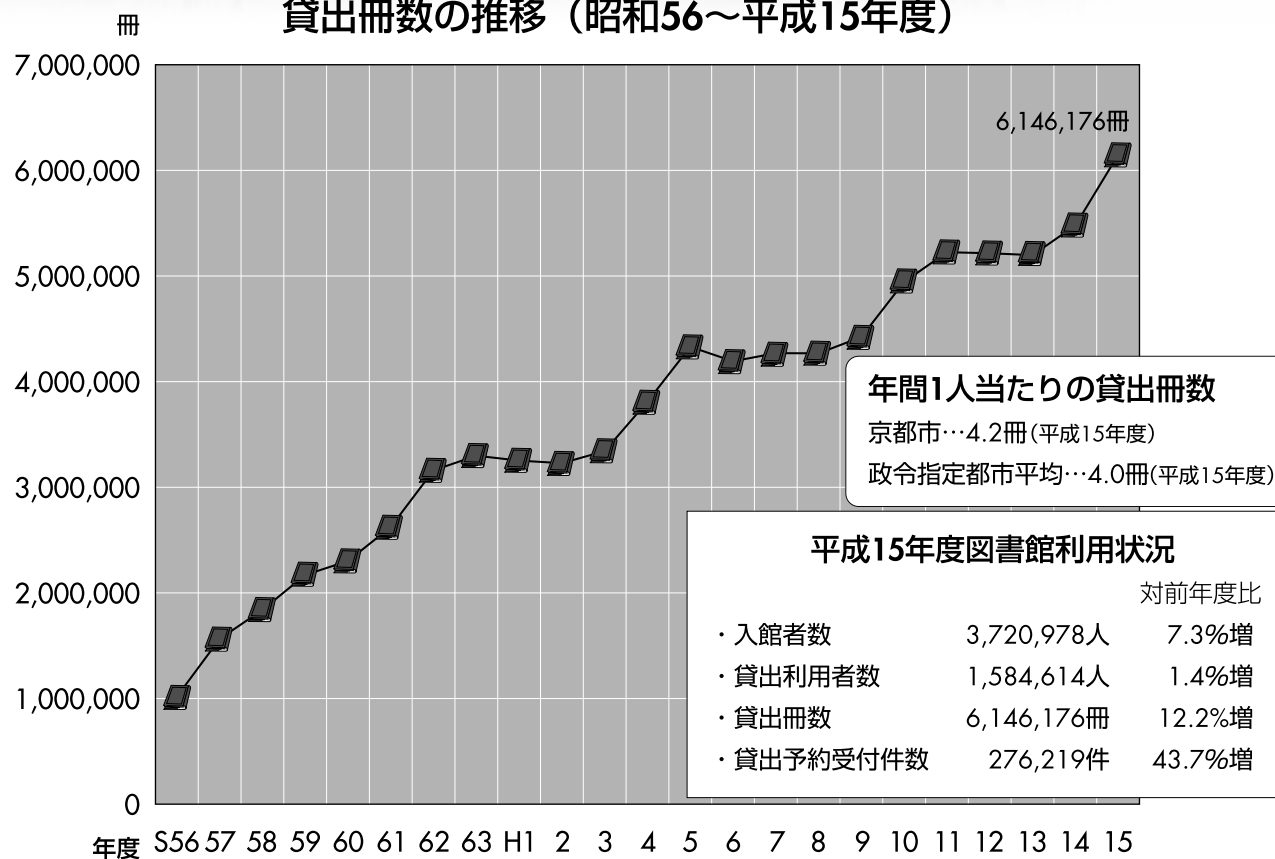
読み聞かせについて熱い思いを語る おおいしすすむ氏

貸出冊数が大幅増

平成15年度図書館利用状況

平成15年度の図書館利用状況がまとまりました。京都市図書館の利用状況は、確実に増加の傾向にあります。中でも貸出冊数は、平成14年度より約67万冊増えて、12.2%の大幅な増加となり、1日あたり約21,000冊の貸出がありました。平成14年10月の図書館情報システムの再構築以来、どの館からでも全館の図書の検索・取寄せが可能になったこと、インターネットにより自宅からも図書館の資料が検索できるようになったことなどにより、市民の皆さんの利用が増えていると考えられます。

貸出冊数の推移（昭和56～平成15年度）



平成15年度図書館利用状況

		対前年度比
・入館者数	3,720,978人	7.3%増
・貸出利用者数	1,584,614人	1.4%増
・貸出冊数	6,146,176冊	12.2%増
・貸出予約受付件数	276,219件	43.7%増

■蔵書点検の結果

また、平成15年度には、全館で蔵書点検を実施しました。数館ずつ順次臨時休館して、書架にあるすべての図書を整理・点検しました。その結果、約1万5千冊が行方不明であることがわかりました。これは、全蔵書の0.96%にあたります。

図書館においては、毎日の書架整理などに努めておりますが、利用者の皆様におかれても、お読みになった図書を書架に返される際に、元の場所に返していただくことや、図書を借りられる際には、必ずカウンターで貸出手続きをしていただくなど、市民みんなの財産である図書館の図書を大切に活用していくため、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 芸術 京都芸術センター図書室

元小学校の建物を生かした芸術文化施設で、ギャラリーやカフェもあり、気軽に芸術に触れる場です。美術、音楽、演劇、ダンス・舞踊、茶道、伝統文化に関する図書資料（約4000冊、洋書含む）、雑誌37種、ビデオ（約400巻、閲覧のみ）があり、特に展覧会カタログや伝統芸能やダンスのビデオが充実しています。

隣にある情報コーナーでは京都市内外の芸術関係のチラシが多数配布されています。ちょっとお出かけしたい、というときにのぞいてみてはいかがでしょうか。



所在地：中京区室町通蛸薬師下ル（地下鉄烏丸線「四条」、阪急「烏丸駅」から徒歩5分）
 開室時間：10:00～20:00
 休室日：年末年始・臨時休館あり
 料金：無料
 電話：075-213-1000
 ホームページ：<http://www.kac.or.jp/center/floorplan/library.html>
 貸出：図書のみ1人2冊まで2週間（要住所確認書類）

2 女性問題 ウィングス京都・図書情報室

女性の自立と社会参加をすすめることを目的として、女性やジェンダー等の視点から幅広く資料を集めています。図書（約5万冊）・雑誌（72種）・コミック（約1000冊）・貸出ビデオ（約500本）・ミニコミ・行政資料・新聞があります。



所在地：中京区東洞院通六角下ル（地下鉄烏丸線「四条」、阪急「烏丸駅」から徒歩5分）
 開館時間：平日 10:00～20:00 / 日・祝日 10:00～17:00
 休館日：水曜日・第三日曜日・12月28日～1月4日・特別整理期間
 料金：無料
 電話：075-212-0606
 ホームページ：<http://wings-kyoto.jp/www/>インターネット資料検索可
 貸出：図書-1人5冊まで2週間 / ビデオ-1人2冊まで1週間（図書と合わせて5冊まで。京都市在住・在勤・在学-要確認書類、コミックは閲覧のみ）

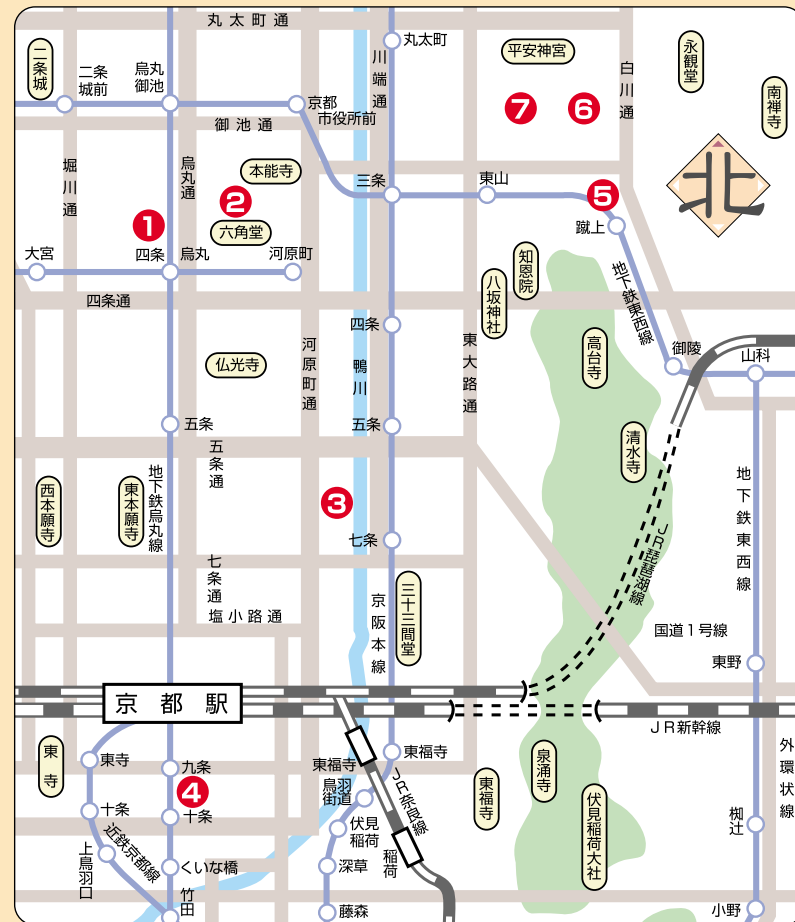
3 市民活動 福祉 ひと・まち交流館 京都 図書コーナー

まちづくりや市民活動、福祉、介護などに関する資料が約1万冊。図書以外に、視聴覚資料・雑誌・地図等もあります。まちづくりやボランティア活動など、興味はあるが、何をどう始めていいかわからない、そういう時にいろいろな情報を提供できる場として、同館内にある市民活動総合センター、福祉ボランティアセンター、景観・まちづくりセンター、長寿すこやかセンターとともに、ぜひ利用してみてください。



所在地：下京区河原町通五条下ル東側（市バス「河原町正面」、京阪電車「五条駅」から徒歩8分 / 地下鉄烏丸線「五条」から徒歩10分）
 開館時間：10:00～20:30（月曜日～土曜日）
 10:00～17:00（日曜日・祝日）
 休館日：毎月第三火曜日（国民の祝日に当たるときは翌日）、年末年始
 料金：無料
 電話：075-354-8703
 ホームページ：<http://www.hitomachi-kyoto.jp/>インターネット蔵書検索可
 貸出：1人5冊まで2週間（京都市在住・在勤・在学-要確認書類）

知っていますか？ こんな図書館・図書室



*他にも専門図書室はあります。今後も順次取り上げる予定ですので、ご期待ください。

4 すまい バリアフリー すまいの専門図書室 （京都市すまい体験館内）

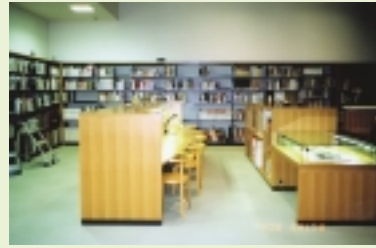


建築・住宅・エコロジー・耐震・高齢化社会・介護・障害者問題・福祉・マンション管理等のすまいに関する本と雑誌約6500冊があります。図書室の閲覧席では「すまいスクール」や日曜には建築士や弁護士等の専門家と個別に相談できる「すまいよろず相談」が開かれています。

所在地：南区烏丸通九条下ル東側（JR「京都駅」から徒歩10分 / 地下鉄「九条」から徒歩1分）
 開館時間：10:00～17:00
 休館日：水曜日・祝日・年末年始
 料金：無料
 電話：075-693-5131
 ホームページ：<http://www.kyoto-sumai.jp/>インターネット蔵書検索可
 貸出：1人2冊まで2週間（要身分証明書）

7 伝統工芸 京都伝統産業ふれあい館 図書室

様々な京の伝統産業品が展示されている一角に、この図書室はあります。蔵書数は約8000冊。西陣織や清水焼など、京都の伝統工芸に関する資料が専門書から一般書まで幅広く揃えられています。思わず見入ってしまう美しい作品集や図案など、目で見て楽しめる資料が大変豊富。他にも、日本や世界の工芸・美術書、京都関連の資料、また、伝統工芸関連を中心に約200本のビデオ等が所蔵されています。



所在地：左京区岡崎、京都市勤業館みやこめっせ地下1階（市バス「京都府会館・美術館前」から徒歩1分、地下鉄東西線「東山」から徒歩10分）
 開室時間：9:00～17:00
 休室日：夏季の施設点検日・年末年始
 料金：無料
 電話：075-762-2670
 ホームページ：<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/fureaika/>
 貸出：図書のみ1人3冊まで2週間（京都市在住・在勤・在学-要確認書類）

6 動物 京都市動物園動物図書館

昭和57年に自然保護の大切さを伝え、社会教育面での充実を図るため開館。動物に限らず、動物に関連のある植物・自然環境・鉱物等の開架図書と書庫の本が約6300冊あり、子どもから大人まで調べものにも役立つ本があります。



所在地：京都市左京区岡崎（市バス「動物園前」すぐ / 地下鉄東西線「東山」又は「蹴上」から徒歩10分）
 開館時間：9:00～16:30【3月～11月】
 9:00～16:00【12月～2月】
 休館日：月曜日（祝日のときは翌日）・12月28日～1月3日
 料金：大人500円 / 中学生300円 / 小学生以下無料（※図書館のみ来館でも有料）
 電話：075-771-0210
 ホームページ：<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/zoo/>
 貸出：無し

5 海外生活 京都市国際交流会館 図書・資料室

世界各国や、京都・日本を紹介する資料が集められている図書室。各国の新聞・雑誌・地図をはじめ、約130言語の辞書、1300冊あまりの絵本や、海外旅行・留学関係の本などが豊富です。現在は外国の方の利用が多いようですが、留学や仕事、旅行、移住等、日本人が海外へ出て行くための情報を得る場として大いに活用できます。何でも尋ねてください。



所在地：左京区南禅寺前交差点（地下鉄東西線「蹴上」から徒歩約6分 / 市バス「京都府会館・美術館前」から徒歩12分）
 開室時間：9:30～20:30
 休室日：月曜・月末1日・年度末3日
 料金：無料
 電話：075-752-1187
 ホームページ：<http://www.kcif.or.jp/>
 貸出：ペーパーバックのみ1人3冊まで2週間（京都市在住・在勤・在学-要確認書類）



久世ふれあいセンター図書館

久世の里

久世地域は昔から「久世の里」という名称で親しまれており、今もその良さを年中行事や人情の深さに見出すことができます。

南区で3番目の図書館としてオープン

久世ふれあいセンター図書館は、平成10年6月に南区で3番目の図書館として複合施設内にオープンしました。光を十分に取り入れられるとても明るく清潔な環境の中で気持ちよく利用できるようになっており、地域の文化活動の拠点として親しまれております。

豊かな自然とマッチした図書館

図書館の東側には桂川が流れ、北側には緑豊かなニューリバー公園が整備されて地域住民の憩いの場となっています。館内に生花を配するなど自然を取り入れる工夫や、河川・魚など水にちなんだテーマ本を集めた常設の「水辺の図書コーナー」は利用者の方から好評をいただいております。

地域施設との連携を深める

当図書館は、平成15年6月で開館5周年という一つの節目を迎え、年初より「地域施設との更なる連携」を大きな目標に掲げ、特に「学校」との連携を深めるための新しい事業を企画・実施しました。

地元小学校・中学校の司書教諭の方との会議

久世ふれあいセンター図書館の外観



を設け、「本が大好きで感性豊かな子ども育成」に向けた積極的な意見を交換するとともに、従来から行っている小学生の図書見学や中学生のチャレンジ体験事業の受け入れ協力をはじめ、新たに「ウエルカム1年生」として小学校に出向き、新1年生への図書館カードの配布やブックトークを行いました。「子ども読書の日」記念事業では、久世中学校吹奏楽部の協力のもと、生徒による朗読と演奏会を実施し、会場を埋め尽くすほどの多くの方に参加いただき、大好評を得ることができました。

利用しやすく親しまれる図書館へ

近頃、利用者の方々から当図書館に対する貴重なご意見をいただく機会も増え、図書館が利用者の方々にとって身近なものになってきているという実感があります。毎週月曜日に「ちいさなおはなし会」として赤ちゃんえほん等の読み聞かせを実施するなど、今後も地域住民とのふれあいを大切に、地域との一層の連携を進めていきたいと考えています。

これからも、職員が一体となって、創意工夫を忘れず、ご利用いただく皆様に愛され親しまれ、より利用しやすい図書館づくりを目指して、努力してまいります。



西京図書館

12 青い屋根・時計台のある建物 それがあなたの図書館です

歴史の宝庫「西京区」

西京の地は北に愛宕山、南に古戦場である天王山、東に桂川、西に酒吞童子で知られる老いの坂などの西山山麓に囲まれています。多くの古墳があり、京都盆地の中で最も古くから人々が生活を始めた地といわれています。平城京から長岡京への遷都に伴い、都の華やかな世界が西京の地に持ち込まれました。古い歴史を有する西京には「昔話」も数多くあり、「竹取物語」のような文学作品の舞台にもなっています。

中世、近世の史実も多く残されており、史跡、名刹が西京全域に点在しており、まさに歴史の宝庫ともいべき地域です。

西京図書館

地理的には、西山を背景に比叡山を遠望する高台に、昭和60年8月7日に開館しました。

青銅色の三角屋根で、建物中央の出窓に時計台があり、地域住民の方々から親しみを抱いていただいています。

館内は、1〜2階は吹き抜けで、外からも館内が良く見え、2階の児童図書室には階段式書架を設け、館全体は明るくアットホームな雰囲気です。

また、今年4月30日より平日は夜間開館（午後7時30分まで）になりました。お勤め帰りの方に



西京図書館の外観



も好評です。ぜひ一度のぞいてみてください。

こんな図書館に

蔵書のリクエストや予約だけでなく、図書館全体へのご希望、ご意見をお聞かせください。皆様の毎日の生活の一部になる図書館づくりをめざして職員一同、ご来館をお待ちしています。



山本の図書館

初夏の京北町へ行ってきました。国道162号線を一路北に向かって車を走らせて行きます。中川を越えて小野郷を通り過ぎ、長い長い笹トンネルを抜けると、もうそこは京北町です。

杉の木々が規則正しく並び、真っ直ぐ天に向かって突き刺さるように伸びています。そんな中を更に進んでいきます。

道中、ずっと左右に深い溪谷と山肌の斜面が交互に現れていたのに、それが数十mほどの短いトンネルを最後に急に途切れ、目の前に田園の風景が広がります。ここが周山の入り口、町役場などがある京北町の中心地です。もっ少し足を伸ばすと与野という地区に行き着き、そこに今回の目的地である文化センターがあるのです。文化センターには貸し会場と図書室が設置されています。

図書室に入るとゆくと、学校の教室ぐらいの大きさの部屋に、約1万2千冊の図書が並んでいました。

到着したのが昼の2時ごろだったせいか、利用者は一人おられただけでした。

でも4時をすぎると、学校から帰った子どもたちが自転車やってくるので、

どんな表情でやってくるのだろうか？

どんな本が好きなんだろう？

時間があればその様子を見たかったです。今回はあきらめました。

京北町は来年度、京都市と合併する予定です。まだまだ機会はありますが、楽しみはもっ少し後にとっておくことにしましょう。



京北町文化センター

「地域教育フォーラム・イン京都」開催

21世紀の新たな教育の創造に向けた実践研究の成果を京都から全国に発信し、子どもたちの教育のあり方を考えていく場として、第6回「地域教育フォーラム・イン京都」が開催されます。今年度中央図書館は、青少年科学センターとともに、分科会「みんなで創ろう子育て環境〜本大好き、理科大好き〜」を企画運営します。どうぞご来場ください。

- ・日 時 平成16年8月10日(火) 10時〜16時30分
- ・会 場 国立京都国際会館
- ・お問合せ先 京都市教育委員会地域教育専門主事室 ☎075(254)5007

北・西京図書館で夜間開館スタート

平成16年4月30日から北図書館と西京図書館で夜間開館が始まりました。京都市図書館では、中央図書館の開館当初から全国的にも先進的な取組として導入してきた夜間開館を、地域図書館へ順次拡充しています。今回の2館を加えて、市立図書館全20館のうち13館で夜間開館を実施しています。お勤め帰りのため、ぜひご利用ください。

「読み聞かせ講座」が始まりました。

絵本の読み聞かせや紙芝居など読み聞かせの基本を学ぶ「読み聞かせ講座」が4月から始まりました。この講座は、平成16年4月に策定された「京都市子ども読書活動推進計画」の提言を受けて実施するもので、地域や学校などで活動するボランティアの方々への資質・技術の向上をねらいとしています。今後は、10月に西京図書館、11月に久世ふれあいセンター図書館、1月に下京図書館で行います。これから読み聞かせボランティアを始めようという方、ぜひご受講ください。

右京中央図書館建設室が発足

右京中央図書館建設室が、平成16年4月1日付で中央図書館内に発足しました。建設室では、平成19年度予定の右京中央図書館（仮称）の開館に向けて準備をすすめていきます。

●左京区 増井和子さん 無職

「本を読みたい時、図書館へ行き借りてくる」。それは一般的な図書館の利用の仕方です。が、それでは自分が興味を持っている範囲から世界を広げることができません。新しい世界に足を踏み入れる一歩目として、図書館は情報発信基地であってほしいと思います。講演会、特別企画などがあれば普段眠っていた感性が刺激され、またそこに集う人達から新しい人の輪ができていくでしょう。そんな文化施設として成長してくれることを望みます。

●右京区 石山静雄さん 設計師

地域の図書館を利用して、午前はシルバー世代の人が新聞を、午後は学校を終えた子どもたちが、マンガ等を読んでいます。若いお母さんに連れられた幼児も絵本をひっきり返しています。お母さんに寄り添って絵本を読んでもらっている姿などは、ほほえましいものです。紙芝居もあります。紙芝居は、子どもの頃以来なので、のぞいてみましたが、テレビとは違ったユッタリしたおもしろさがあります。私にとって退屈しないところです。

●伏見区 加藤美樹さん 無職

図書館は私の家から歩いて1、2分の所にあり、気軽に利用しています。家には常に借りてきた本がたくさんあります。子どもたち3人も赤ちゃんの頃より本に親しむことができ、読書好きになりました。私自身もこれほど本を読んだ時期があったかと思うほど色々な本を読んでいます。まさに図書館通いは生活の一部であり、図書館は大変魅力的な所だと思います。いつも親切な対応をしてくださる職員の皆様ありがとうございます。

●南区 川口高成さん 無職

10時の開館を待って、館長さん始め職員の方がおはよう、お待たせしましたね、いつもお世話になっております。入館です。返却して新刊のコナーへ。月初めの新刊が入っていますとうれしいです。「しばらくお目にかかりませんでしたね」、「ちよいと悪かったので」、「職員の皆が心配してましたの」、「ありがとう」、こうした会話は元気が出ます。いつも明るい笑顔は気持ちの良いものです。本を読む楽しみが私の若返り法です。図書館の存在に感謝しております。

●西京区 松村 武さん 無職

我が家から歩いて五分の洛西図書館、生活騒音を避けて利用しています。過る夏、声高な少年達、館員さんの注意後も止むことなく、来館者の嫌悪な雰囲気を読み躊躇しつつ意を決し再喚起す。静あれど我が心重く不快な残余。自省自戒。借受図書は返却期日に開わりなく読了後速やかに返却の事、新聞の頁繰り音、椅子の引出音、雨の日靴底擦過音等に意を注ぎ来館者の皆さんに、不快な思いをさせる事なきよう。

編集後記

行かなきゃ損！

公共図書館が1箇所でも何でも揃うデパートだとすると、4、5ページで紹介している図書室は専門店のようなものです。こじんまりとして、初心者用から専門家用まで豊富な品揃え。資料や施設そのものがかもし出す雰囲気も独特で、ゆつくりと時が流れます。

また、施設に付属しているので、展示等を見た後にもう少し知りたいことを資料で調べたり、専門家の話を聞いたり出来るのもいいところです。芸術や市民活動なんて自分には関係ない、と思っている方も、ぜひ一度訪れてみてください。意外と身近なテーマが見つかって、新しい世界が広がるかもしれません。本当に、行かなきゃ損！なのです。